

みについては、介護認定新規申請時の平均年齢を計画期間の3カ年で、3歳延伸させることとし、目標年の平成32年度では、平均83歳を設定し、毎年評価管理をすることとしている。

▽ふるさとの森森林公園改修事業計画について

ふるさとの森森林公園の改修は、平成29～30年の2カ年で整備する事業であり、平成30年度は、炊事場の改修、アスレチック遊具の一部撤去、トイレ解体、新設工事、トイレ新設監理業務、排水、園内通路、駐車場などの整備を行うこととした。

園内通路については、車でバンガローまで通行可能な園内通路を設け、車をバンガローに横づけできるようになり、更にキャンプサイトを利用される自転車やバイクの利用者のための専用駐車場を設けることになった。

平成29年度の決算見込みは2千5百34万7千円で、平成30年度の予算見積は8千25万5千円となっている。

▽IP告知システム更改の検討状況について

現在使用しているIP告知システム、幌延町情報推進施設は、平成23年4月に運用を開始してから約7年が経過し、経年劣化により、告知端末機の故障が増え、安定的な運用が困難な状況になってきている。

しかし、更改には多額な費用が必要で、補助金などの財源確保も厳しい状況にあり、設置自治体で組織している情報通信基盤利用研究会において、検討を行っている。

なお、数社から見積もりを行ったところ、概算で約1億円前後の費用が見込まれ、参加した町村長から、国に対する制度対応の要請について意見が出された。中心となっている喜茂別町の中央要望の結果報告で、起債の可能性について話があり、今後は新たに任意協議会を設置、業者を決定し、単独市町村ではなく、各市町村で同じものを使用していくよう提案されている。

▽町立診療所病床機能変更変更について

平成30年4月1日から、町立診療所の病床機能の一部を変更し、療養病床19床を一般病床4床と療養病床15床の合計19床に変更しようとするものである。

平成23年10月1日より町立病院から診療所に移行する際、長期入院患者、慢性期の患者が多くなるであろうと予想。入院基本料が算定できる療養病床が有利であると判断し、19床を療養病床として開始したが、近年入院患者が減少し、平成24年度は1日平均入院患者が9.7人に対して、平成28年度は1日平均入院患者数が7.3人と2.4人の減少となっている。

診療報酬入院料については、平成24年度決算で3千5百17万7千円。平成28年度決算で2千8百51万8千円と6百50万9千円の減少となっており、療養病床を一般病床に変えることで、若干ではあるが、収入増に繋がるため、病床機能を変更するものである。

▽幌延町開基一二〇年記念事業について

①北海道日本ハムファイターズ応援大使事業として、試合のタイアップイベント、応援、グッズの作成、講演会や野球教室の開催、観戦ツアー。

②記念映像等作成業務。町史記録用の映像を一二〇年に完成版として発表。  
③青いケシ苗の配布事業。希望する町民、元町民も含め、苗を配布。  
④町産のミズナ材によるワイン樽の製造事業。  
⑤記念誌の製作事業。全戸に配布。

⑥観光案内版の更新事業。  
⑦町広報誌特集事業として、「北緯45度の大地に生きる動植物たち」とのタイトルで特集記事の掲載。  
⑧記念写真展開催事業。「一二〇年の歩み大還暦写真展」と題し、5月下旬から6月中旬に写真展の開催。

⑨記念式典、開拓碑の献花式を10月20日に開催。  
⑩名林公園の開拓記念碑改修事業。  
⑪長寿まつりに南中ソーラの演奏。

⑫舞台芸術鑑賞事業。東京ブルースタイルによる演奏、幌延中学校吹奏楽部とのセッション。  
⑬史跡標柱の設置事業。豊栄小学校、上豊神小学校、幌延炭鉱、下サロベツ駅通所の4カ所に設置。  
⑭記念植樹事業等の事業を平成30年度に予定している。



編集委員長 西澤 裕之

副委員長 鷺見 悟

委員 吉原 哲男

高橋 秀之